

Okayama Shoka University Shodai365

学報2011/8月号

Vol.98

岡山商科大学学報

2011年(平成23年)8月10日発行



バスケットボール教室の一場面



～さあ、行こう! 自分探しの旅へ～ オープンキャンパス始まる



瀬戸内市・武久頭世市長と井尻学長

CONTENTS

〈商大トピック〉

- 後援会総会開催
- 留学生歓迎会開催
- バスケットボール教室開催
- 日よう子ども大学開催

〈キャリアセンター便り〉

- 2010年度 就職活動を振り返って
- 2011年度「3年生就職対策講座」始動
- 公務員試験対策学内講座、開始

商大トピック

Topic

1

学位記授与式・卒業記念パーティー

寒さもゆるみ、桜のつぼみもほころび初めた3月22日(火)、本学体育館において第43回学位記授与式が行われました。冒頭、東日本大震災の犠牲者に黙祷を捧げた後、粛々と式が進み、井尻学長の「絶えず学び姿勢と惜しみない努力を続け、新しい世界を構築するべく、果敢に挑戦する事を期待します」との式辞を受け、卒業生を代表して商学部商学科の三宅真理菜さんが「商大で学んだ知識、経験から得た全ての事をこれからの人生の糧として、立派な社会人となるよう、ご恩を忘れてず日々努力を重ねていきます」と謝辞を述べ、皆で思い深い学歌を斉唱し、式は幕を閉じました。



当日はRSKラジオで卒業式の様子が生中継されました。

学位記授与式に引き続き学生会館食堂にて開催された「卒業記念パーティー」では、食べ物や飲み物を片手にお話になった教職員、勉学やサークル活動と一緒に汗を流した友人達とともに、思い出話やこれからの夢につきることなく花を咲かせていました。

この日卒業したのは商学部259名(商学科218名、会計学科41名)、法学部47名、経済学部88名、大学院商学研究科7名、法学研究科8名、経済学研究科1名、留学生別科14名の合計424名です。(総務企画課)



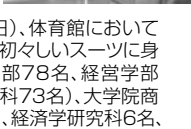
Topic

2

入学宣誓式

雲一つない晴天の4月3日(日)、体育館において第47回入学式を挙行了しました。初々しいスーツに身を包んだ法学部53名、経済学部78名、経営学部178名(経営学科105名、商学科73名)、大学院商学研究科11名、法学研究科3名、経済学研究科6名、留学生別科10名の計339名の学生が入学を許可され、晴れて岡山商科大学の学生の仲間入りを果たしました。

式辞の中で井尻学長は「夢を持つ事、世の中の流れを認識し、世界の中での自分の立ち位置を確認すること、心身とも共に健康であること」の大切さを述べました。新入生達は入学式に引き続いて行われた学科別オリエンテーションに参加し、学生としてのスタートを切りました。まだあどけなさの残る顔も見受けられましたが、4年後の春には一回りも二回りも心身共にたくましくなり、立派な社会人として本学を巣立っていく事を期待します。(総務企画課)



協定を結び、同村に対する徹底した調査を基に、政策提言などを実施しています。第2に、人材育成事業。ここでは、行政関係者や地域住民、研究者などを対象に、今回紹介するシンポジウムやセミナー開催などを行っています。第3に、自治体や地域住民からの受託調査事業。ここでは、岡山市や津山市、赤磐市などから行財政改革の支援要請を受けており、助言や提言などを行っています。

このたびで6回目となります「地域再生シンポジウム」は、岡山自治体学会との共催で、2011年3月5日(土)に本学の781教室で開催されました。参加者は県内の行政関係者や議会関係者、NPOや企業関係者、地域住民、そして大学の研究者など約90人でした。当日は、議会の開催や大学の春季休暇中などの時期にあたり、参加しにくい状況でありましたが、これだけの人数の参加がありましたことにまず感謝いたします。

今回のシンポジウムのテーマは「地域主権を考える」であります。詳細については別の機会に譲りますが、ここではシンポジウムの趣旨などを簡単に紹介させていただきます。現在の日本はその進むべき方向性や立ち位置を明確に示すことができず、閉塞感に覆われています。2009年に誕生した民主党政権は「地域主権国家」という理念を掲げて「地域主権改革」を「1丁目1番地」として位置づけていますが、その進展は見られず、その中身も依然として不明確なままです。私たちは、「地域主権」という理念をどのように理解し、社会経済システムの中どのように位置づけられればよいのでしょうか。本シンポジウムにおいては、「地域主権」のあり方を行政や経済、地域住民の視点から根源的に検討して、21世紀における「地域」の位置づけとその可能性について展望しました。岡田知弘京都大学公共政策大学院教授の基調講演「地域主権とは何か」では、これまでの「地域主権改革」の動きや「平成の大合併」後の地域の現状など豊富な事例を挙げながら、「地域主権」という概念の曖昧さや矛盾を指摘された上で、今後の地域のあり方における方向性は、住民が自己決定できる「地域住民主権」の実現であり、そのためには「団体自治」「住民自治」をベースとした地域づくりの実践の積み重ねが重要であると強調されました。パネルディスカッションでは、筆者をコーディネーターとして、岡田雅夫岡山大学理事・副学長、中村聡志日本政策投資銀行岡山事務所長、池田仁士新庄村議会議長・全国町村議会議長会副会長の3人の論者が活発に意見交換を行いました。フロアからの質問も活発に行われ、大変意義深いシンポジウムとなりました。(地域再生支援センター長・経済学部教授 多田憲一郎)

Topic

4

特待生認定証書授与式

4月3日(日)、入学宣誓式・オリエンテーションに引き続き、井尻記念館4階ホールにおいて、特待生認定証書授与式が開催されました。最初に、法学部法学科8名、経済学部経済学科15名、経営学部経営学科10名、経営学部商学科7名、合計40名の新入学特待生を紹介し、各学科代表者に井尻学長から認定証書が授与されました。

特待生を代表して、経営学部経営学科の代々成美さんが、「今後は、一層勉学に励み充実した学生生活をおくることをここに誓います」と、これから始める学生生活に思いを込めたお礼の言葉で授与式を締めくくりました。

今回の授与式は、特待生を全教職員に紹介するとともに、彼らを激励して、より一層、勉学意欲を高めてもらうと行われました。彼らの頑張りが、他の学生にも刺激を与え、本学に入学した学生全員が、4年間充実した学生生活を送れるよう、教職員一同、惜しみない支援をしていきたいと思っています。(教務部学生課)



Topic

5

2011年度経営学特殊講義開講

(社)岡山経済同友会のボランティアプロフェッサー制度による経営学特殊講義が、2011年4月から16年目として開講しています。

2011年度前期は、テーマを「金融・保険企業における、地域での金融・保険の役割」とし、これまで講義テーマとして取り上げていた、地方銀行、保険業

のトップの方々に講義をお願いしました。前期では、(株)山陰合同銀行常務取締役小田光則氏、(株)広島銀行岡山支店長三吉三氏、(株)百十四銀行営業統括部地域コンサルティンググループ長岡村一郎氏ほか、日本生命保険(相)岡山支社長井藤徳也氏、明治安田生命(相)岡山支社長小出和久氏ほか、三井住友海上火災保険(株)岡山支店長前田達也氏にご講義をさせていただきました。

後期は、「岡山県外の企業における地域での営業活動」と題し、アサヒビール(株)、日本たばこ産業(株)、キリンビール(株)、大和ハウス工業(株)、(株)パナソニック、日本電気(株)の岡山支社、支店のトップの方々にご講義を頂く予定です。(経営学部教授 大崎紘一)



Topic

6

留学生歓迎会

桜がまだ五分咲きの頃、日本への憧れを抱き、私は留学生として岡山商科大学にきました。留学生歓迎会の開催を知り、まだ留学生活に慣れていなかった私は、不安を抱えながら歓迎会場へと迎えました。会場は賑やかで、中国や韓国からの留学生や日本人の先生達が国境の壁を越えて一堂に集まり、食べたり話をしたりしながら、なごやかな雰囲気になっていました。人々の顔は笑みに溢れて、私の日本に来たばかりの心細さも瞬時に消えてなくなりました。一番印象的だったのはやはり留学生達の出し物でした。私は韓国の素晴らしい踊りと馴染みの深い中国の歌に惹かれ、存分に楽しむ事が出来ました。

様々な国の留学生達が岡山で出会い、交流し、このような形でお互いに理解を深める事は大切に素晴らしい事だと思いました。今回の留学生歓迎会は、私にとって「コミュニケーション能力をつける経験でもあり、「国際人」となるうえで第一歩になりました。私は将来、中日の架け橋になって、国際交流の輪を広げるために努力していきたいと思っています。(経営学部経営学科 郭京青)



Topic

7

JBL選手等によるバスケットボール教室の開催

日時 平成23年6月25日(土)・26日(日)
場所 本学体育館

招請選手

- ①小宮邦夫選手 身長188cm
(略歴)東京都出身、青山学院大学卒業(1997年)大和證券所属(2000年)新潟アルビレックスへ移籍(2001年)日立サンロッカーズへ移籍(2003年)アイシンシーホースへ移籍(2004年)日本代表(2010年)引退、バスケットボール普及活動に従事
- ②阿部佑宇選手 身長178cm
(略歴)北海道出身、東海大学卒業(2007年)パナソニックライオンズ所属現在に至る※学生時代インカレ2連覇に貢献
- ③宇田康利選手 身長190cm
(略歴)茨城県出身 拓殖大学卒業(2008年)東芝ブレイブサンダース所属現在に至る※学生時代第2回スタンコピッチカップ日本代表候補に選出されるが、同大会は中止となる。

(開催概要)

今回7回目となる、JBL選手等によるバスケットボール教室を2日間(6/25・26)に亘り開催いたしました。招請選手は3名でしたが、元日本代表で現在本学園のバスケットボール部監督の納谷幸二が加わり4名で指導にあたりました。

初日は、準備運動から始まり基本的な動きの練習、ボール捌き、正確なシュートを打つための練習方法など各選手が模範を示しながら説明指導されました。指導いただいた選手達は、練習時間の5割以上を基礎練習に割いており、特にオフシーズンは基礎練習のみに専念することでありました。この基礎練習の積み重ねがあったからこそ、各選手それぞれ、ドリブル、シュート、パス、どのプレイをとってもレベルの高さを目の当たりにすることができたと思います。

選手らは、繰り返し基礎の大切さを口にされていました。基礎練習は面白くないが、基礎があつてこそ、スーパープレイも生まれる、スポーツも学問も同様であると思います。

Topic

3

地域再生シンポジウムを開催

「地域再生支援センター」は、本学が法学部、経済学部、商学部(現在は経営学部)の3学部体制となった2005年4月に設立されました。本学が新体制となったことを契機に地域貢献を目的として、地域の構成メンバーである自治体や企業、地域住民の皆様の地域づくりを支援しています。センターの主要事業は3事業あります。第1に、政策提言事業。現在、モデル事業として、岡山県新庄村と



教室の最後には交流ゲームを行い、数分ずつでしたが参加者は目を輝かせて選手に挑んでいました。最後に教室を開催し、一流選手に触れスポーツのすばらしさを再認識してもらい、クラブ活動が活性化することと参加した生徒さんがこれからの人生に何か一つでも得るものがあったことを期待いたします。(総務企画課)

Topic 8

「日ようび子ども大学」開催

県内15大学の連携組織「岡山オルガノン」の地域活性化委員会が主催する「地域活性化シンポジウム」を6月26日(日)に岡山商科大学学生会館で開催しました。第1分科会として「学生活動の取組報告『大学における活動と大学間連携』」を開催し、川崎医療福祉大学ボランティアセンター副センター長西本氏の講演や、県内4大学の学生によるボランティア活動の報告などがありました。



第2分科会では、「日ようび子ども大学」を開催し、県内8大学から、工作教室、スポーツ遊び体験、体を使ったお絵かきなどのブースが出演されました。本学からは、経営学部高林准教授が参加し、学生と共に小遣い帳の付け方などについて来場した児童に説明を行いました。

同日は午後からの開催にも関わらず、2会場併せて子供さんを含めて約600名が参加されました。来場者からは「親は色々な情報収集ができ、子どもは楽しめました」「各大学の特色がでて楽しかった」などの声が寄せられました。(岡山オルガノン岡山商科大学オフィス)

Topic 9

「平成23年全日本柔道選手権大会」を終えて

平成23年4月29日(金)、日本武道館で行われた「平成23年全日本柔道選手権大会」に出場しました。



中国地区予選を1位で勝ち上がり、4年連続、5度目の日本武道館の畳に上がる事が出来ました。中国大会1位になったのは今回が初めてで、自信もつきました。必ず初戦突破をと奮起して試合に臨みましたが、勝ちにこだわりすぎたのが、焦って仕掛けた技を返されてしまいました。そのまま攻めきれず、結果は優勢負けとなりました。

またもや勝利をつかむことができませんでしたが、これからも努力を重ね、実力をつけて、勝利を目指し全日本選手権大会に挑戦していきたいと思えます。

終りになりましたが、全日本選手権出場に当たり、多くの方々から多大なるご声援をいただきました。心から御礼を申し上げますとともに、今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。(図書課 菊川 顕)

Topic 10

後援会総会開催

毎年恒例の後援会総会が7月2日(土)本学大会議室で開催され、約50名の保護者の方にご出席いただきました。教学、就職関係の状況報告のほか、事業報告や事業計画、役員的人事等について審議がなされ、いずれもご承認いただきました。9月の保護者懇談会開催もご承認いただきましたので、別途ご案内いたします。ご出席いただけますようお願いいたします。(総務企画課)



Topic 11

構内宝探し大会開催

5月28日(土)、体育会本部は平成23年度春企画とし、「構内宝探し大会」を開催しました。本企画の概要としましては、構内の要所施設を新入生等にとって頂き、また、新入生同士の、ゼミ生、

上回生達の親睦を深めるという目的を持って開催しました。

当日は小雨が降り、コンディションとしてはあまりよくありませんでしたが、新入生を含む11チーム、総勢46名という、例年以上の多数の学生の方々に参加してくれました。

参加者たちは、楽しみながら大学内に隠されたヒントや各アトラクションをクリアし、ipodや3DSと言った豪華景品を求めゴールを目指していました。また、新たに新入部員が入りさらにパワーアップした、体育会本部部員も楽しみながら各アトラクションの運営や警備を行い、参加者の方々を楽しませ、交流を深めていました。

今後も各企画等を通じて、大学を盛り上げていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。(体育会本部)



優勝した学生のみなさん。記念品とともに

Topic 12

夏季研修「蒜山バスツアー」開催

文化会本部では、6月25日(土)に、学生に岡山の自然を学んでもらう目的で「蒜山バスツアー」を実施しました。

職員の方々のご協力もあり、当日は大きな問題もなく安全に終了することができました。

参加人数は、当本部役員を含めた30名で募集しましたが、申し込みが殺到し、募集人数を急遽増やして結果34名の参加になりました。

神庭の滝では、西日本最大級の大きさの迫力に圧倒されました。そして、蒜山ハーブガーデンでは、蒜山の雄大な自然と季節の花の美しさを感じることができました。

当本部でとったアンケートでは、参加した学生の大半から満足できる内容だったという回答を頂きました。スケジュール通りの日程で動くこともでき、予想以上の良い結果にすることができました。

最後になりましたが、今後ご迷惑をおかけすることが多々あるかと存じますが、文化会本部役員共々、全力で努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。(文化会本部)



神庭の滝(真庭市)にて記念撮影

Topic 13

学生総会

6月22日(水)、今年の「平成23年度 前期学生総会」を無事終えることができました。全出席者数は708人と多くの学生の協力を得る事が出来ました。議題は、「平成22年度 学友会各本部事業報告及び収支決算書」についての報告及び承認「平成23年度 学友会各本部事業計画(案)及び収支予算書(案)」についての説明及び承認でした。また、その他の内容は、「3つのM(モラル・マナー・モチベーション)運動」について、学友会としての取り組みである「大学生災害ボランティア研修会」についての説明「第46回 商大祭」における模擬店の出店についての説明でした。

議題の説明は、学友会各本部の役員が壇上に立ち、来場者に説明し、承認を依頼し、原案どおりの承認を得る事が出来ました。また、決算報告においては、各本部の会計監査員が今回の会計監査は全て適正に行われた旨を来場者に示しました。

次に、その他の内容についてです。「3つのM」運動は、大学側への協力を学友会も進んで行いたいことを来場者に示し、運動の実施を来場者に促しました。「大学生災害ボランティア研修会」は、7月上旬を予定しているゼミナール協議会とあわせて実施すること、研修会への能動的な参加を来場者に依頼しました。今後も学内放送や掲示板での告知等で多くの参加者を募ります。「第46回 商大祭」の説明は大学祭実行本部委員長が説明し、多くの参加希望を依頼しました。

今回の学生総会は全学生の協力のもと実現いたしました。その協力に応えるため今年度の学友会はさらなる発展を望み努力していきたいと考えています。そのためにも、大学側との連携を深め、さらなる学友会の躍進を図りたいと考えています。そして、学生全員に大学の事業について積極的な参加をしていただくべく学友会としてもより一層力を尽くしたいと願っております。(学友会本部)

Topic 14

懸賞論文に入賞

平成23年3月に本学法学部法学科を卒業した原田優さん(現・岡山大学法科大学院生)が、本学在学中に応募した「みずほ学術振興財団 第52回懸賞論文」で、見事佳作を受賞しました。

「みずほ学術振興財団」は、青年層に対する学術研究の奨励を目的とし、研究助成金の交付や懸賞論文の募集などの事業を行っており、河上記念財団から引き継がれた懸賞論文事業には、今年度選考分で52回を数える伝統があります。

原田さんは、上記懸賞論文募集事業(法学部)に対し、与えられた課題の中から「保証」(民法)を選択して応募しました。とくに平成16年民法改正において、保証が要式行為化された(保証契約の成立に書面に要求された)意義について検討し、贈与書面やクーリングオフ期間の起算点としての契約書面等と対比して、保証書面の該当性は厳格に判断されるべきであると主張しました。

第52回懸賞論文の入選選考において、「(学生部)には第1~3等の該当はなく、原田さんの論文を含む3点の応募が佳作の評価を得ています。表彰式は、6月7日に東京銀行協会ビルで行われ、全国各地から入選した学生・社会人・研究者(大学院生)等に、それぞれ表彰状と学術奨励金が贈呈されました。(法学部)

Topic 15

「日本事情」課外授業

～「茶道」体験と「犬養木堂記念館」見学～

7月9日(土)、日本事情特設講義の受講生を中心に22名が学園バスで日本の伝統文化の体験学習へ行きました。犬養木堂記念館の館長さん、茶道の先生とボランティアの皆さんの親切で温かいもてなしで、日本特有の茶道体験ができ、また、木堂と日本近代史についても学ぶことができました。



茶道は、茶の湯の道の略称です。平安時代に遣唐使たちが中国から半発酵茶を持ち帰り、鎌倉時代には、栄西(岡山出身の人)が禅宗とともに中国の新種のお茶を持ち帰り、やがて抹茶が広がりました。そして室町時代のころ「茶の湯」が侘び、寂びの文化として定着し、現在のような茶道は千利休によって作り上げられ、「一期一会」の総合芸術にまで高められました。

もともと中国のものであっても、中国の茶道とは違う日本特有のものになっています。会話の交流の場としての中国茶道に対して、日本の茶道はお客様をもてなし、心という精神面を重んじる。この様な本当の茶道の体験ができたことは、日本文化の勉強を大きな目標にしている私たち留学生にとって、大変な喜びでした。

犬養木堂記念館は国指定重要文化財の旧犬養家住宅(木堂生家)と木堂の資料室からなり、木堂の功績を称え、地域文化の振興の場となっています。木堂の書翰、愛用の筆、硯や遺品などを見ていると、先人の足跡に深い尊敬の念を抱かせ、また古代中国からの珍品もあり一層興味を持つようになりました。さらに、中日文化の切っても切れないつながりを肌身に感じると共に、日本文化の理解も深められました。このように、商大での学生生活には、私を期待させるものがあり、文化体験の一日がまたあることを楽しみにしています。(交換留学生 経営学部2年生 彭 程)

Topic 16

留学に出発します!

この度、中国に留学にするにあたり、このような機会を頂いたことに感謝申し上げます。前期の講義で異文化のコミュニケーションや金融論を学んで参りましたので御力添えに恥じぬよう、大連外国語学院の留学を通じて中国語はもちろんインターシップで中国のビジネスについて学びたいと思います。留学先でも変わらず精進して参りますので、これからのご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。行ってきます!(経営学部 商学科 アジアビジネスコース 仲上綾華)

「岡山での生活」

私はこの4月に本学に着任しました。岡山に来て3カ月が過ぎ、生活にも少しずつ慣れてきました。

これまでの私の人生において岡山を訪れる機会がなかったのですが、住み始めて岡山の魅力を数々発見しています。まずは、おいしい食べ物があることです。桃やマスカットなどの果物はもちろんのこと、新鮮な海の幸や山の幸といった食材がたくさんあります。甘い物好きかつ魚好き、お酒好きの私にとってはなんともうれしい限りです。また、岡山にはご当地グルメがたくさんあります。岡山に着任してすぐに、津山にホルモンうどんを食べにいきました。そして、間髪いれずに、笠岡まで笠岡ラーメンを食べにいきました。私は出身が和歌山でとんこつ醤油味のラーメンにどっぷり浸っていたので、鶏からベースのだしと鶏チャーシューの組み合わせは目からうろこで、私にとってすごく斬新でした。それ以外にも、デミカツ丼や「かきおこ」などをはじめとしてご当地グルメがたくさん岡山にはあるので、機会を見つけて1つずつ食べ歩いていこうなんて思ったりしています。

次に、岡山には多くの名所、史跡があるところですが、私は、着任前に家族で岡山の後樂園を訪れたのですが、ちょうどその時には梅が満開でとてもきれいでした。また、4月に着任してすぐに、閑谷学校に経済学部の留学生のオリエンテーションで訪れたのですが、桜が満開で、しかも、普段では上がれない講堂で孔子の論語を学習できたことなど、文化に触れ合える機会ができ、とても貴重な体験でした。津山城にも休日散策してきました。それに、温泉もたくさんあることから、温泉好きの私にはたまりません。地図や雑誌を開いてワクワクしています。

最後に、岡山は交通の便が非常にいいことにも驚きました。少し走れば四国の香川に行くことが可能ですし、四国には高速道路がきちんと整備されているので、香川から徳島、高知、そして愛媛といった場所にも訪れることができます。また、広島や山口、そして鳥取などの方面へのアクセスも便利です。新幹線では、新大阪から岡山までほんの40分で到着できるし、岡山空港も見逃せません。こういった便利なアクセス環境を利用して、いろいろな場所を訪れたいと思っています。

関西から岡山に来て、目新しいことが多く戸惑うこともあります。日々楽しく充実した生活を過ごせています。これからたくさんの新しい発見に出会いながら、岡山生活を楽しくしていこうと思っています。

作家の視点

江戸川乱歩賞作家
石井敏弘
本学非常勤講師(第十七期商学部卒)

市民創作ミュージカル 「最後の五匹」について

震災の生々しいダメージが残る三月二十日。

倉敷市児島にある児島文化センターで、市民創作ミュージカルが上演されました。「最後の五匹」という児島にある鬼退治伝説をベースにした、完全オリジナル・ストーリーの舞台ですが、一昨年の末に話をいただき、昨年から一年ちよつと、私はこの脚本制作を行ってきました。

ミュージカルの脚本を書くなどというのは、初めての機会でしたが、様々なことを勉強しながら、昨年の5月には第一稿を書き上げ、その後も舞台演出や楽曲が組み入れられていく中で、その都度修正を加えていくという、なかなか難儀な仕事を行ってきました。

鬼退治伝説をベースに、とはいいながら、物語は今よりもさらに厳しい世相、時代となった近未来の物語で、この困難な時代を生き抜いていくためのメッセージを込めた作品です。参加者である市民は、毎週の練習に時間を割いて参加し、歌、踊り、そして舞台の道具製作や楽曲制作にと、驚嘆すべき熱心さを示してくださりました。

結果、三月二十日の舞台は大成功、大盛況、観客の大喝采の内に幕を下ろしました。

「感動した」「すごい舞台だった」「プロのようだった」「二度だけでは惜しい。全国に発信したいミュージカルだ」

その後もたくさんのお言葉をいただきました。もちろん、私はこの基本的なストーリーを構築したにすぎず、演出の先生を始め、メインキャスト、赤ん坊から高齢者まで、数多くの参加者の努力、汗のたまものです。

あのような厳しい折にこそ、文化を発信すること。その大切さを痛感したミュージカルでしたし、また作家として、新しい境地が開けたことも予感した創作となりました。

イチオシ! この一冊

表紙の形態が普通の書籍より少し目立っていたので読んでみました。スラスラと読み易いことと要所・要所にピリッと日本人を喜ばせてくれるというか、人に褒められて心の中がとても明るくなって嬉しくなる1冊です。著者は黄文雄さんで昭和13年生まれの台湾の評論家です。第1章世界が驚嘆する日本人の不屈の精神。第2章世界が憧れる日本人の美德。第3章世界が讃える日本人の勤勉。第4章世界を魅了する日本人の美意識。第5章世界が敬う日本人の武士道精神。から構成されています。

トピックスの始めに時代を超えた世界の著名人の格言が示され話が展開されて行きます。日本人なら誰しも家族から聞いた話、学校で学んで知っていたつもの出来事も黄文雄さんの巧みな文章術で読者に改めて『そうだったのか。そうだよな。』といった気持ちにしてくれます。そして『日本人ってこんな行動で世界の人々に感謝してもらっているのだ。』という発見があります。作者が台湾の黄文雄さんが書いているから大げさに記述しているのだと読み始めに思いましたが一読後の感想は、そのようなクドサは一切ありません。

逆にこれだけ沢山の資料を、時代を超えた古文書から見つけ出し読者を、『日本人としての誇りと喜び』を持たせてくれるのだと思います。一例を挙げてみると『世界が讃える日本人の勤勉』の部で、1775年にオランダ商館付き医師として出島に赴任したカール・ツツンベリー(1743~1828)は、『この国民は必要にして有益な場合、その器用さと発明心を発揮する。そして勤勉さにおいて、日本人は大半の民族の群をぬいている彼らの銅や金属製品は見事で、木製品は綺麗で長持ちする。その十分に鍛えられた刀剣と優美な漆器は、これまでに生み出し得た他のあらゆる製品を凌駕するものである』といった具合です。読者を飽きさせることない感動の話題が盛り沢山のこの一冊です。

是非ご一読いただきたいと思います。(図書課 藤岡)



『日本人はなぜ世界から尊敬され続けるのか』

著者：黄文雄 (Kou Bunyu)
出版社：徳間書店(定価952円：2011年5月発行)

キャリアセンター便り

2010年度 就職活動を振り返って

2010年度は12月時点で大卒内定率が氷河期よりも厳しく、本学においても求人件数が昨年度に引き続き2割減(昨年度比)と大変厳しい状況でしたが、最終的な就職率は90.4%(昨年度93.6%)となりました。岡山県内の大学就職率87.7%(岡山労働局)、全国の大学就職率91.1%(厚生労働省)と比較すると、学生が厳しい状況の中で健闘したことがうかがえます。

今後更に厳しい状況が続くと予想されますが、就職対策講座などに積極的に参加し、早くから1社でも多くの人事担当者に接し、将来仕事をしていきたいと思える企業を見つけ、将来を見据えた有意義な就職活動をしてもらいたいと願っています。



2011年度「3年生就職対策講座」始動

2013年3月卒業予定となる3年生を対象とした「就職対策講座」が5月25日からいよいよ始まりました。第1回の講座ではマイナビ担当者にお越し頂き、就職活動のおおまかなスケジュール、そして企業が求める人材について説明して頂きました。また、第2回の講座では土曜日に3コマ集中で行い、人事コンサルタントの方に「仕事とは?正社員とは?」をテーマに、仕事に対する考え方・スタンスなどを分かりやすく説明して頂きました。同講座は来年1月までの計10回開催します。また、キャリアセンターではこの他にも就職合宿や地学地就バスツアー、就職筆記試験対策講座、インターンシップなどを開催する予定です。



日時	内容	場所
5月25日(水) 14:40~16:10 16:20~17:50	第1回「マイナビによる2013就職状況」	841 教室
6月11日(土) 10:40~16:10	第2回「ビジネスって面白い」から始める就職活動	772 教室
6月30日(木) 14:40~16:10	第3回「山陽新聞前経済部長から見た地元企業」	773 教室
7月 6日(水) 14:40~16:10	第4回「内定者報告会&SPI対策」	841 教室
10月12日(水) 14:40~16:10	第5回「人事部に聞く」	772 教室
11月 9日(水) 14:40~16:10	第6回「エントリーシート・履歴書対策」	772 教室
11月16日(水) 14:40~16:10	第7回「面接実践トレーニング」	772 教室
11月30日(水) 14:40~16:10 16:20~17:50	第8回「サイトからの企業研究&合説回り方のすすめ」	772 教室
12月14日(水) 14:40~16:10	第9回「グループディスカッション対策セミナー」	772 教室
1月18日(水) 14:40~16:10 16:20~17:50	第10回「就活直前丸ごと就職セミナー」	772 教室

※上記の他にも行事を予定しています。また、他学年対象の行事等も予定しています。詳細は、本学ホームページをご覧ください。

公務員試験対策学内講座、開始。

これまで公務員試験対策講座を1年に3回に分けて行っていましたが、今年度から2011年6月~2012年2月までの期間で全67コマ(各90分)をキャリアセンター-法学教育センター主催、東京アカデミー実施で行うことになりました。昨年度に比べるとコマ数も増え、充実した講座内容になっています。6月14日から開講し、現在24名の学生が目標の公務員を目指して、勉強を進めている最中です。

新任教職員紹介



経営学部経営学科 教授 井上信一
徳島県の生まれで、その後瀬戸内海の両岸を回遊魚のごとく移動してきました。本年度から本学教職員の一員に加えて頂きました。担当科目は、「原価計算論」、「管理会計論」などです。まだ青葉マークですが、皆さんと一緒に、教育研究に取り組んで行きたいと思っています。



経営学部商学科 教授 岸田芳朗
58歳の秋田県生まれです。岡山大学に33年間務めさせていただき、この月から地域社会と呼吸する商大にお世話になっています。チーム商大の一員として、地域開発や地域資源の活用に関する研究に精進し、学生教育を充実させたいと思っています。41名のゼミ生と岡山県内を走り回っています。



経営学部商学科 招へい准教授 司炳月
I am an associate professor of TEFL/TESL in Dalian University of Foreign Languages. In October 2000, I got Master of Arts (English Literature and Linguistics) in Liaoning Normal University. In July 2010, I began English linguistics study as a postgraduate in Shanghai International Studies University. Now I am teaching TOEIC (Intensive English), Communication C, and Introduction English in Okayama Shoka University. It is a blessing to communicate with the young generation and I enjoy being with them very much.



経済学部 招へい准教授 夏藤莉
大連外国語学院大学日本語学部卒。日本にて修士(人文学)の学位を取得した後、母校に戻り、「リスニング」、「通訳」などの授業を担当しました。今年4月から招へい教師として商大の孔子学院及び学部で1年間中国語を教えることになりました。孔子学院の教職員とともに中国語の講座を盛り上げていきたいと思っています。



経営学部商学科 講師 松田寿雄
1973年3月香川大学経済学部経済学専攻科修了。以後、37年間岡山県内の商業高校で商業科の教員として、「情報処理」、「経営数学」などを専門に指導し、本年3月に倉敷商業高校を最後に退職いたしました。本学では、高校教育での経験を生かし、社会に有用な教員を育成するための指導・研究に励んで参りたいと思っています。



経済学部 講師 井田大輔
和歌山県出身。神戸大学で博士(経済学)の学位を取得した後、(財)関西社会経済研究所の客員研究員を経て、本年度から岡山商科大学経済学部の講師として着任しました。私の専門は金融政策の理論的・実証的研究です。最近では、デフレ・ショック下の金融政策の在り方や資産価格への対応などを調べています。担当科目は、金融論、教養演習、基礎演習です。趣味は温泉巡りやお酒を飲むことです。よろしくお願ひします。



経営学部商学科 招へい講師 徐沈廷
「旅に出よう!未来のために。新しい自分を見つけよう!未来のために。」旅に出て今まで気付いていなかった自分自身を見つけ出しましょう。旅を通して築き上げた経験は、自分にとってきつと宝物になりますよ。



入試部入試課 小倉由希子
今年度採用され、現在入試課で勤務しています。本学職員として、入学された方に「商大に入ってよかった」と心から思ってもらうためには何が出来るのか、日々模索しているところです。本学とともに成長し、社会的役割を果すお手伝いできたらと考えています。これからもどうぞよろしくお願ひします。



教育学部留学生課 胡雨希
私は中国の瀋陽に生まれました。今年、岡山商科大学の商学部を卒業後、学生課で働いています。留学生のことを担当しております。商大の一員として頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。



教育学部学生課 赤木真人
4月1日より硬式野球部コーチとして勤務させていただき、事になりました。野球が出来ると嬉しに感謝し、支えてくださる方々に良い報告が出来ればと思います。選手共々日々精進して参ります。よろしくお願ひいたします。

人事異動

種別	役職等	氏名	所属	日付	
採用	嘱託職員	三宅 博	学生課	2月1日	
	招へい准教授	宋 玉琴	商学科	2月28日	
退職	教授	橘 晋介	経営学部	3月31日	
	教授	三宅 忠明			
	教授	飯島 祥二			
	准教授	小塚 匡文			
	招へい准教授	黄 健	経済学部		
	講師	武元 卓巳	商学科		
	主任	田中 妙子	教務課		
	嘱託職員	坂 和樹	学生課		
	法学部長・学科長	香山 忠志	法学部		
	経済学部長・学科学科長	山下 隆資	経済学部		
再任	経営学部長	堤 一浩	経営学部		
	キャリアセンター長	山口 博幸	経営学部		
	入試部長	西 敏明	経済学部		
	教学部次長	両角 成広	経済学部		
	社会総合研究所次長	川合 一央	経営学部		
	会計教育センター長	橘 晋介			
	法学教育センター長	伊藤 治彦	法学部		
	採用	招へい准教授	夏 麗莉	経済学部	
		講師	井田 大輔	経営学部	
		教授	岸田 芳朗 井上 信一		
招へい准教授		司 炳月	経営学部		
講師		松田 寿雄	入試課		
招へい講師		徐 沈廷			
事務職員		小倉由希子	入試課		
嘱託職員		赤木 貴人	学生課		
嘱託職員		平岡 達也			
嘱託職員		胡 雨希			
昇任	准教授	成 澤 寛	法学部		
	准教授	下田 大介	経営学部		
	教授	西中 恒和			
	准教授	全 円子			
新任	法学部長・学科長	伊藤 治彦	法学部		
	経済学部長・学科学科長	多田 憲一郎	経済学部		
	経営学部長	川本 和則	経営学部		
	キャリアセンター長	有利 隆一	経済学部		
	入試部長	山下 隆資			
	入試部次長	喜田 栄次郎	法学部		
	社会総合研究所次長	成 澤 寛			
	会計教育センター長	堤 一浩	経営学部		
	法学教育センター長	香山 忠志	法学部		
	再任	学長	井尻 昭夫	-	
副学長		大崎 紘一	経営学部		
経済学研究科長		福田 亘	経済学部		
商学研究科長		大城 裕二	経営学部		
経営学科長		川本 和則	経営学部		
商学科長		坂下 晃			
留学生別科長		岸本 雅之			
図書館長		大崎 紘一			
産学官連携センター長		大崎 紘一			
情報教育センター長		小松 原実			
孔子学院長	南部 稔				
異動	主任	藤岡 彰		図書課	
退職	課長	大上 英樹		キャリアセンター課	5月31日

2010年度サークル活動状況

サークル名	大会名	種目	結果	
卓球部	第61回中国学生卓球選手権春季大会	団体の部・シングルス・ダブルス	各級上位入賞	
	第61回中国学生卓球選手権秋季大会	団体の部・シングルス・ダブルス	各級上位入賞	
	第80回全日本大学総合卓球選手権大会	団体の部	出場	
	第2回三地区学生卓球選手権大会	団体の部・シングルス・ダブルス	各級上位入賞	
	第32回中国学生卓球連盟会長杯卓球選手権大会	団体の部	3位	
	第77回全日本大学総合卓球選手権大会	シングルス・ダブルス	出場	
	第42回中国新人学生卓球選手権大会	団体の部・シングルス・ダブルス	各級上位入賞	
	日本拳法部	第25回全日本学生拳法個人選手権大会	個人の部	出場
		日本拳法第23回全国大学選抜選手権大会	団体の部	出場
		第14回西日本学生拳法選手権大会	団体の部	出場
全日本学生拳法選手権大会		団体の部	出場	
第55回全日本学生拳法選手権大会		団体の部	出場	
陸上競技部	全山陰陸上競技大会	個人の部	上位入賞	
	全日本学生陸上競技選手権大会	個人の部	上位入賞	
	中国五県対抗陸上競技選手権大会	個人の部	上位入賞	
	第78回近畿陸上競技選手権大会	個人の部	出場	
	第58回四国陸上競技選手権大会	個人の部	出場	
	第63回西日本学生陸上競技対抗選手権大会	個人の部	上位入賞	
	第33回中・四国学生陸上競技選手権大会	個人の部	上位入賞	
	第65回国民体育大会	個人の部	出場	
	第22回出雲全日本大学選抜駅伝競走	個人の部	出場	
	第26回日本ジュニア陸上競技選手権大会	個人の部	出場	
ウエイトトレーニング部	第31回中・四国私立大学陸上競技選手権大会	個人・団体の部	上位入賞	
	第45回関西学生春季パワーリフティング選手権大会	個人の部	出場	
弓道部	第29回関西学生秋季パワーリフティング選手権大会	個人の部	出場	
	第43回中国学生弓道競技大会	個人・団体の部	出場	
	第22回全国大学弓道選抜大会	団体の部	出場	
ゴルフ部	第56回中・四国学生弓道選手権大会	個人・団体の部	出場	
	第58回全日本学生弓道選手権大会	個人・団体の部	出場	
	第40回中国アマチュアゴルフ選手権競技	個人の部	出場	
	第30回四国アマチュアゴルフ選手権競技	個人の部	出場	
	第47回全国大学ゴルフ対抗戦	団体の部	出場	
	平成22年度中・四国学生ゴルフ春季1部校対抗戦	団体の部	2位	
	第27回中・四国学生ゴルフ王座決定戦	個人の部	上位入賞	
	平成22年度中四国学生ゴルフ秋季1部校対抗戦	団体の部	2位	
	第31回中・四国学生ゴルフ新人戦	個人の部	上位入賞	
	中・四国学生ゴルフ連盟白電湖カップ争奪戦	団体の部	優勝	
柔道部	中四国学生柔道優勝大会	団体の部	優勝	
	全日本学生柔道体重別選手権大会	個人の部	出場	
	平成22年度全日本学生柔道優勝大会	団体の部	出場	
	全日本学生柔道体重別団体優勝大会	団体の部	出場	
	平成22年度中四国学生柔道体重別選手権大会	個人・団体の部	優勝	
	平成22年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	個人の部	出場	
	第7回KOBELIFE他共栄カップ学生柔道大会	団体の部	出場	
	第65回国民体育大会(岡山代表)	団体の部	出場	
	第65回国民体育大会(鳥取代表)	団体の部	出場	
	第65回国民体育大会(徳島代表)	団体の部	出場	
第65回国民体育大会(島根代表)	団体の部	出場		
硬式野球部	第7回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会	個人の部	上位入賞	
	平成22年度中国六大学野球春季リーグ戦	団体の部	3位	
軟式野球部	平成22年度中国六大学野球秋季リーグ戦	団体の部	4位	
	春季1部リーグ戦	団体の部	6位	
ボウリング部	秋季1部リーグ戦	団体の部	4位	
	平成22年度中・四国学生ボウリング連盟春季リーグ戦	団体の部	3位	

2011年度後期単位互換履修生の募集について

岡山オルガノン参加岡山県内15大学間において自分の大学で他大学の科目が、それぞれ履修できる、テレビ会議システムを利用した「双方向ライブ型遠隔講義」科目、VODを利用した「VOD型遠隔授業科目」科目が提供されています。2011年度後期は「双方向ライブ型遠隔講義」科目として「経営学特殊講義」「音楽の鑑賞」「岡山学～旭川を科学する～」「スポーツ栄養学」「倉敷まちづくり実践論」「宗教思想」「現代子ども学入門」、「VOD型遠隔授業」科目で「パーソナルファイナンス:金融資産運用・不動産」「環境と社会」「インターネット入門」「アルゴリズム入門」「環境考古学」「睡眠学」「レクリエーション論」「スポーツ産業論」「現代中国論」「日本人の思想」「日本美術史b」「運動生理学」の開講が予定されています。詳しくは教学部教務課がWeb(<http://okayama-organon.jp/>)をご覧ください。

エコナイト

「岡山オルガノン」地域活性化委員会主催で、環境に関するイベント「エコナイト」を2011年7月7日(木)に県内15大学一斉に実施しました。午後8時に消灯する「ライトダウン」、自家用車の利用を控える「マイカー乗るまあday」、前後の期間には、「節電活動」、ペガサスキャンドル(株)の工場を訪問する「エコキャンドル作製見学」等を行いました。さらに、本年度は新たに、岡山市などが開催する「七夕ライトダウン in おかやま2011」に、本学の他、岡山理科大、山陽学園大、就実大の学生約70名が岡山駅西口ひかりの広場会場に参加しました。あいにくの雨天のため、エコキャンドルメッセージの点灯はできませんでしたが、力を合わせて東日本を応援する日本地図を作成し、ハートマークにルミカライトを点灯しました。アコースティックライブやエコうちわに東北への応援メッセージを街頭で記入してもらったイベントも実施しました。(岡山オルガノン岡山商科大学オフィス)



毎日の学習に図書館を思う存分活用しよう

学生の皆さんこんにちは。いつも図書館を利用していますか?本学の学生さんなら誰でも利用できるのは当然ですが、昭和40年の開学以来一貫して一般市民の皆さまも利用することが出来ます。やはり商大生なら利用しないともったいないです。『大学の図書館』に対してどんなイメージですか?何となく敷居が高くて寄付けられないですか?

図書館とは、図書・雑誌・新聞やその他の資料や情報を収集・整理・保存して利用者に提供する施設のことです。大学には、必ず附属の図書館が設置されておりその名を『大学図書館』といいます。

大学図書館は、一般の公立図書館と異なり、学内の学生・大学院・教員の教育と研究の利便性を計るためにあります。大学図書館は、学生と教員のためのものです。従いまして所蔵図書・資料は、教育と研究を優先して収集され学術性や専門性の高いものとなります。娯楽雑誌や通俗小説は的外れです。一般の図書館には無く、専門性の高い学術研究書があり貴重であり、珍しいものであったりします。これが大学図書館の価値なのです。

商大図書館は、法学部・経済学部・経営学部の3学部4学科の特色を反映した図書資料を中心として、図書館内の開架・書庫・館外の先生方の研究室に分散して配置されています。図書館の利用方法として、講義やゼミナールの提出物として課題レポートを作成する場合、図書館に来ると先ず、①検索システムOPAC(オーパック)で図書を探す。②図書の並び方を見る。③新聞記事や学術雑誌を探す。そして必要な資料が見つかったら、貸出手続きを行ってください。貸出が禁止されている図書や学術雑誌ならば図書館内の複写機で、利用規定を守りコピーしてください。それでも必要な資料が無い場合は、郵送料と資料代が掛かりますが他の大学や国立国会図書館から取寄せることも可能です。毎日大学生として活躍しているあなたへ!!図書館を利用しないのは実にもったいないことです。一日に一回10分で構わないので新聞を読みに来るだけでも実力となるでしょう。ユタリーノルームで友人とお話するのも良いでしょう。快適な机とイスで思う存分学習してください。

先ずは基本的なことから始めてみましょう。商大図書館の面白さが発見出来ます。分からないことがあれば図書館員に遠慮なく声を掛けてください。あなたの充実した学生時代を築いてください。商大図書館でお待ちしています。(図書課)

計算書類(岡山商科大学収支内訳表)

資金収支内訳表

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

■収入の部				(単位:千円)
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金収入	1,789,378	1,768,327	21,051	
手数料収入	22,456	18,879	3,577	
寄付金収入	15,240	15,390	△150	
補助金収入	143,312	134,139	9,173	
資産運用収入	6,566	7,902	△1,336	
事業収入	24,546	29,708	△5,162	
雑収入	64,161	68,777	△4,616	
収入の部合計	2,065,659	2,043,122	22,537	
■支出の部				(単位:千円)
科目	予算	決算	差異	
人件費支出	1,145,674	1,129,883	15,791	
教育研究経費支出	429,966	397,890	32,076	
管理経費支出	126,384	114,392	11,992	
借入金等利息支出	2,891	2,891	0	
借入金等返済支出	18,120	18,120	0	
施設関係支出	151,554	145,032	6,522	
設備関係支出	42,051	19,874	22,177	
支出の部合計	1,916,640	1,828,082	88,558	

消費収支内訳表

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

■消費収入の部				(単位:千円)
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金	1,789,378	1,768,327	21,051	
手数料	22,456	18,879	3,577	
寄付金	15,240	15,962	△722	
補助金	143,312	134,139	9,173	
資産運用収入	6,566	7,902	△1,336	
事業収入	24,546	29,708	△5,162	
雑収入	64,161	78,915	△14,754	
帰属収入合計	2,065,659	2,053,832	11,827	
基本金組入額合計	△151,235	△159,146	7,911	
消費収入の部合計	1,914,424	1,894,686	19,738	
■消費支出の部				(単位:千円)
科目	予算	決算	差異	
人件費	1,127,360	1,104,654	22,706	
教育研究経費	552,148	513,382	38,766	
管理経費	145,105	132,943	12,162	
借入金等利息	2,891	2,891	0	
資産処分差額	5,000	291	4,709	
消費支出の部合計	1,832,504	1,754,161	78,343	

瀬戸内市との間で包括連携協定を結びました。

本学と瀬戸内市は、2011年7月12日(火)に瀬戸内市において、包括的連携協定を締結しました。これからの取り組みとして、岡山商大の持つ知的・人的資源を活用することによる地域貢献を行うこととし、地域ブランドの発掘と商品化、農業の6次産業化、市政の支援、人材育成、産業振興などの様々な取り組みについて連携協力を行うことを目指します。

調印式に続き、産学官連携センター長大崎紘一教授から、「産学官連携センターの教育研究活動について」と題し、これまで本学が社会との窓口として行ってきた産学官連携活動の講演、経営学部岸田芳朗教授から、「社会が見える学生社会から見える学生の育成を目指して」と題して、これまで瀬戸内市と関わり行ってきた活動についての講演が行われました。瀬戸内市の武久市長から「大学との連携により市民はもとより社会への発展に繋がることを期待したい」旨の挨拶があり、本学井尻学長が「新しい教育研究の実践の場を与えていただいた。必ず還元をしていきたい。」との挨拶がありました。(産学官連携センター)

トマト銀行と包括協定を締結しました。

2011年6月10日(金)に本学と株式会社トマト銀行は、連携に関する包括協定調印式を執り行い、協定書に調印しました。地域における互いの情報及びノウハウを結び付けること等を通じて相互の連携を強化し、企業等の有する問題、特にマーケティングなど社会科学系の課題等を解決し、もって地域の発展に貢献することを目的としています。

調印式ではトマト銀行の中川社長から、「企業の販売面について、大学の力をお借りしたい」との挨拶がありました。今後トマト銀行を通じ、企業からの相談、発展して共同研究につながれば、大学のもつ社会科学分野における専門知識を有効に活用できることとなります。既に1社から相談が寄せられています。(産学官連携センター)



(株)トマト銀行 中川隆進取締役社長と井尻学長

新たに2企業と共同研究を開始しました。

①2011年2月に西尾総合印刷(株)と共同研究契約を取り交わし、経営学部高林宏一准教授を研究代表に「地方都市における、中堅印刷及び、同関連産業の業態変革についてシナリオ手法を用いた戦略構築の研究」というテーマで共同研究を行っています。

②2011年7月に、(株)ビートシステムサービスとの共同研究契約を取り交わし、経営学部蒲和重准教授を研究代表とし、「中国人向け金融サービスの研究」というテーマで、中国人がどのような金融サービス(消費者信用、保険など)を求めているのかについて、日中両国で調査を行い、ビジネス・観光や留学等で来日する中国人に対して、金融・流通業者等がとるべき戦略について共同研究します。

産学官連携センターは社会と大学の窓口として、今後も企業・団体・行政の皆様からの相談をお待ちしています。TEL.086-256-6676



西尾総合印刷(株) 西尾源治郎
代表取締役社長(左)と井尻学長



(株)ビートシステムサービス 太田一郎
代表取締役社長(右)と井尻学長

2012年度入試日程

A O 入 試		全学部 エントリー期間:7月1日(金)~2月3日(金) 試験場:本学 「岡山商科大学で学びたい」そんな君たちからのエントリーをお待ちしています。入試部:TEL086-256-6652				
試験区分	学 部	出願期間	試験日	合格発表	試験会場	
推薦入試	指定校推薦	全学部	9月12日(月)~10月7日(金)	10月15日(土)	10月21日(金)	本学
	専門能力推薦	全学部	9月12日(月)~10月7日(金)	10月16日(日)	10月21日(金)	本学
	一般公募制推薦	全学部	10月11日(火)~10月28日(金)	11月5日(土)	11月11日(金)	下記前期AB日程 試験会場参照
				11月6日(日)		
			11月7日(月)~11月25日(金)	12月3日(土)	12月9日(金)	本学
				12月4日(日)		
一般入試	前期	全学部	1月4日(水)~1月20日(金)	1月28日(土)	2月3日(金)	下記前期AB日程 試験会場参照
				1月29日(日)		
	中期日程		1月23日(月)~2月10日(金)	2月17日(金)	2月24日(金)	本学
	後期日程		2月13日(月)~3月2日(金)	3月9日(金)	3月16日(金)	本学
大学入試 センター試験 利用入試	前期日程	全学部	1月4日(水)~1月31日(火)	個別試験は課さない	2月10日(金)	全ての出願期間で 窓口受付を行います。 (8:30~16:30) ※土日祝祭日を除く
	中期日程				3月2日(金)	
	後期日程				3月16日(金)	

(一般公募制推薦入試 前期A・B日程 試験会場) 本学、広島、福山、松江、高松、松山、高知、小倉

(一般入試 前期A・B日程 試験会場) 本学、広島、福山、松江、高松、松山、高知、小倉

オープンキャンパス~さあ、行こう!自分探しの旅へ~

体験授業・先輩トーク・学食体験・個別懇談など多数のコーナーを用意してみなさまをお待ちしています。

【日程】★8月27日(土) ★9月23日(金・祝)

【時間】11:00~16:00

●岡山駅西口から無料バスを運行

●事前申込不要、私服でのご来場もOK

【お問い合わせ】入試部入試課(TEL 086-256-6652)



●ご意見・感想等は、総務企画課学報担当まで E-Mail / gakuho@po.osu.ac.jp